



北海道神宮御本殿

くにたまの会会報

【第2号】

発行／くにたまの会
 島根県出雲市大社町杵築東195
 出雲大社社務所内
 TEL：0853-53-3100



ご

挨拶

拶

くにたまの会総裁
 出雲大社宮司

千家尊祐

皆様方には、「くにたまの会」の事につきまして日頃よりおささえを戴いております事、厚く御礼を申し上げます。

新聞やテレビなどでも報道されており、近年の我が国の周辺では領土拡大主義の動向など平和を揺るがす許しがたい事態が起きております。また、地震や水害等の自然災害が頻繁に起こっており、復興も進んでいない状況でございます。この様な国難に尊

い蘇りの光を照らすべく、私共は更なる奉仕の誠を捧げ、心を結び合っていかなければなりません。この試練に国民を挙げて立ち向かっていかなければならない今、「神の命もちとして世をつくり固め成せ」

との御神勅の顕現と拝し奉り、神国日本の蘇りに尽くす使命を果たさなければなりません。

ご承知の通り本会は、平成二十四年に産声をあげたばかりの若い会でございます。まだまだ発

展途上の会であり、多くの問題を乗り越えて行かなくてはなりません。大神様が国づくりの際、様々な困難を克服されて御神格を養われ、尊い神として御成長なされたように、私共もお互いに手を携え、会の発展のために尽くし合ってまいります。

それが大神様の御神慮と、御皇室の御心に報いることであり、また人々の心の醸成と蘇りを結んでいくものと強く確信致しております。

今後とも、皆様方との御神縁を大切にさせて頂きまして、御神徳の宣揚と斯道の発展、そして鎮座地域の活性化を通じ全国的な会の拡充と繁栄につとめてまいります。

と存じますので、一層のご尽力とご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

全国の会員神社の御社頭のますますのご隆昌とご発展を祈念申し上げます。ご挨拶とさせて頂きま

す。

平成二十六年 度 総 会



平成二十六年七月七日、「北海道神宮」参集殿に於いて五十四社の会員神社の宮司が集い、平成二

十六年度の総会が開催されました。総会に先立ちまして、正式参拝を執り行い、記念写真を撮影いたしました。

午前十時より開催されたこの度の総会では、神宮並びに奉務神社遥拝、国歌斉唱の後平成二十五年年度の事業報告、会計報告がなされ、平成二十六年年度の事業計画案、予算案などについての審議が行なわれました。

前日の役員会にて可決された通り、満場一致で承認されすべての議事がおわりました。

その後研修会として、ご親族が樺太の県社、^あ庭神社の神職として奉仕されていたという、北海道神社庁副庁長・静内神



社宮司の山田一孝氏により、「樺太の神社」と題して、ご自身が自ら樺太に足を運んで行った神社調査の貴重な体験をふまえながら、講演をいただきました。総会後は会場を札幌パークホテルに移し、和やかに恒例となりました懇親会が開催されました。清興では木村香澄氏による江差追分のご披露をいただく等盛会に催され、会員たちは大國主大神様との御神縁により、この度の総会でも相互の親睦を深めました。



会員神社紹介

越中一の宮

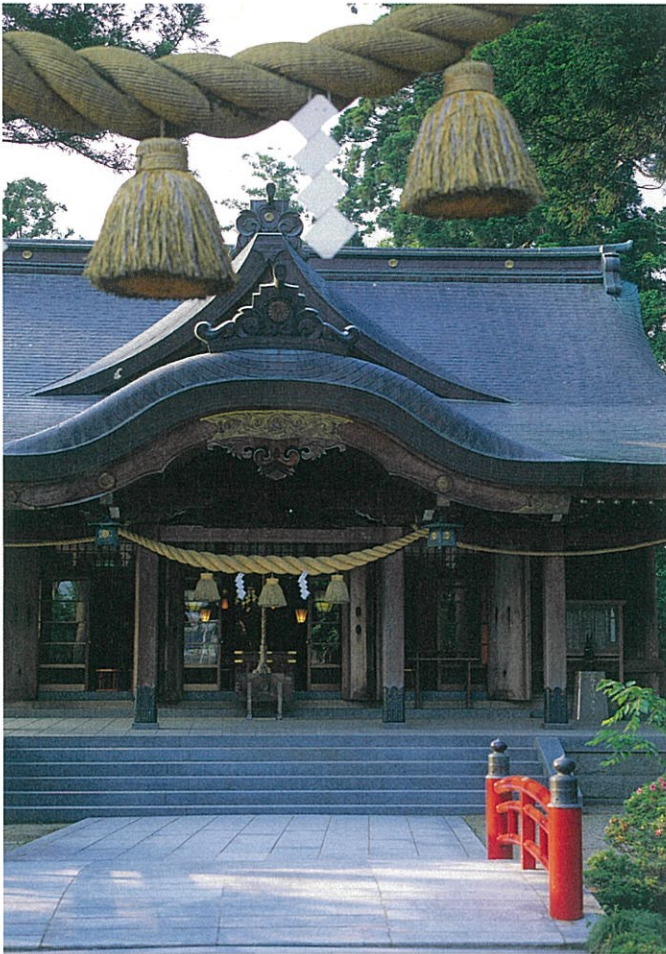
高瀬神社

御祭神

(主神) 大国主命 (大己貴命)
(配祀) 天活玉命 五十猛命
(末社) 功霊殿・高瀬稻荷社

御祭神の御神徳

主祭神の大国主命は北陸諸国の



国造りをなされたことから「国土開拓・農耕の神」として崇められているほか、「福の神・結びの神」として開運招福・家内安全・商売繁盛などを掌る神様として広く知られています。また、神話「因幡の白うさぎ」で不心得者の兔を改心させ、怪我を治療されたことから「医薬医療の神」としても崇敬されています。

天活玉命は「無病息災・延命長寿の神」として、五十猛命は「農林殖産・交通安全・厄除・病氣平癒の神」として信仰されています。

御社殿

千鳥破風と唐破風が巨木の森に調和して建つ当神社の御社殿は、国費をもって昭和十七年より数年の計画で建てなおされる予定で工事が始まりましたが、基礎工事が終了した昭和二十年八月終戦を迎え、GHQ(連合国総司令部)の指令によつて国費による建立が中止となりました。往古の面影は消滅し、参拝する人の数は皆無といった状況でしたが、地方の崇敬者有志の方々が多額の浄財や樹齢数百年の銘木を寄進され、多くの方々の社殿建立の情熱にささえられて、昭和二十二年に御本殿(流造)、翌年に拝殿(入母屋造)、更に昭和六十二年に唐破風の向拝殿が完成し、鎮座二千年の歴史を偲ぶ御社殿の完全な竣功を見るにいたりました。

神社の歴史

御鎮座の年代は、景行天皇の御代と伝えられており、太古悠遠の時代に属します。

天武天皇の御代に蝗害により勅



使を遣わされてより後、光仁天皇宝龜十一年(七八〇年)從五位下に、さらに清和天皇貞觀元年(八五九年)正三位に、安徳天皇治承四年(一一八〇年)に正一位に列せられました。当時は多くの社領莊園を有していましたが、現在は「神子畑」という地名だけ残っています。また、「大宮司」「勸学院」など、往時の面影を偲ぶ地名も残っています。

戦国時代に入り、往古の繁栄は何処へ。社頭は荒廢し、人心も乱れた時代でした。江戸時代になると、加賀藩主前田家の篤き崇敬の誠心のもと、御神威は高揚し、明治以降は明治六年に県社、大正十二年に国幣小社となり、翌十三年、摂政宮(昭和天皇)の御使が



御参拝されるなど皇室、国家からも篤く待遇されました。昭和二十一年に大東亜戦争終結となりましたが、戦前戦後を通し、この地域の守護神として崇敬され今日に至っています。

祈年穀祭

稲作をはじめ、農作物全体に害虫の被害がなく、豊作であるよう祈る祭りです。

穀倉地帯、砺波平野の真中に鎮座する当神社は農耕に関する祭りが多く、天武天皇の御代には蝗が大量発生し、甚大な被害が出たため朝廷から勅使が参向され、祭儀を行い、夜、松明を焚いて蝗を退治したとの先例によって現在も六月十日に祭儀が斎行されています。

功霊殿(末社)

御殿に隣接する功霊殿は日清・日露戦争から大東亜戦争まで、砺波地区から出征された護国の英霊と当地方開拓の功労者合わせて六、四〇〇余柱をお祀りしています。功霊殿本殿は当神社の旧本殿で、天保七年に建立された井波彫刻の粋を尽したものです。また、文化財の指定を受けています。

献穀田

毎年春に早々種籾のお祓いからはじまる献穀田は、井波地区の中核農業士協議会の方々の奉耕によって行われております。御田植祭、拔穂祭の神事には早乙女が奉仕します。



社務所と境内

境内に茂る樹齢数百年の杉の巨木の森は過去の歴史を語りかけ、四季を通して野鳥の声が森林の中に響き、参拝者の耳を楽しませてくれます。境内樹木の若木は各地から崇敬者の方々が植樹されたものです。

高瀬神社のお祭り

- 毎月一日・十三日 月次祭
- 一月一日 歳旦祭
- 一月三日 元始祭
- 一月七日 昭和田皇祭遙拝
- 一月二十五日 天神祭
- 二月三日 節分祭
- 二月十一日 紀元節祭
- 二月十七日 祈年祭
- 三月八日 鎮火祭
- 三月春分の日 春季皇霊祭遙拝
- 四月三日 神武天皇祭遙拝
- 四月十日 春季祭
- 四月二十九日 昭和祭
- 六月十日 祈年穀祭
- 六月十九日 風宮例祭
- 六月三十日 稻荷社例祭 夏越大祓
- 七月土用の三番 除熱祭
- 八月十六日 中禮祭
- 九月十三日 例祭
- 九月秋分の日 秋季皇霊祭遙拝
- 十月第一日曜日 村祭り
- 十月十七日 神嘗奉祝祭
- 十一月三日 明治節祭
- 十一月十三日 神明宮例祭
- 十一月十五日 七五三祝祭
- 十一月二十三日 新嘗祭
- 十二月二十三日 天長節祭
- 十二月三十一日 師走大祓 除夜祭

くにたまの会 新規入会神社 (平成27年6月25日現在)

神社名	宮司名	鎮座地
滝上神社	黒田和俊	北海道
駒繫神社	澤田浩治	東京都
鍬山神社	天岡秀雄	京都府
石浦神社	長谷吉憲	石川県
生矢神社	大川正	兵庫県
佐保神社	神崎壽福	兵庫県
芦屋神社	山西康司	兵庫県
稲荷神社	宮崎和明	兵庫県
日吉神社	林直	兵庫県
浜宮天神社	打田正民	兵庫県
惣社	近藤公博	兵庫県
御坂社	松下睦紀	兵庫県
三輪神社	小田文雄	兵庫県
蛭子神社	井上優	兵庫県
伊和神社	安黒秀幸	兵庫県
野口神社	大部満男	兵庫県
乎疑原神社	山本安彦	兵庫県
万九千社	錦田剛志	島根県
多根神社	春日矩光	島根県
金刀比羅神社	門屋臣	島根県
大原神社	後藤和彦	島根県
八重垣神社	佐草敏郎	島根県

神社名	宮司名	鎮座地
机崎神社	小川喜直	島根県
仰支斯里神社	石原道夫	島根県
鳥屋神社	山本孝一	島根県
兵主神社	福間百樹	島根県
玉作湯神社	遠藤融	島根県
日速神社	遠藤融	島根県
來次神社	松岡美昭	島根県
三澤神社	陶山浩正	島根県
玉若酢命神社	億岐史人	島根県
津野神社	高橋宏樹	島根県
金屋子神社	安部正哉	島根県
縄久利神社	高松伸在	島根県
中山八幡宮	福場儀和	島根県
布宇神社	家原國彦	島根県
氷川神社	秦武男	島根県
宮地嶽神社	浄見讓	福岡県
英彦山神宮	高千穂秀敏	福岡県
飛幡八幡宮	波多野良紀	福岡県
諫早神社	宮本健一	長崎県
大津日吉神社	坂本道	熊本県
粟野神社	外山安二	宮崎県
十根川神社	那須隆盛	宮崎県

平成27年6月25日現在会員数 207社

くにたまの会 会報ご寄稿のお願い

皆様よりお寄せ頂きました記事や情
報を会報に掲載させて頂きます。

就きましては、遷座祭・式年祭・特
殊神事・地域の伝統行事・身近な出来
事等どんな事でも結構でございますの
で、ご寄稿を賜りますようお願い申し
上げます。

送り先

〒六九九一〇七〇一

島根県出雲市大社町杵築東一九五

出雲大社社務所内

「くにたまの会事務局」まで

電話 〇八五三一五三一三一〇〇

メール joh@izumoooyashiro.or.jp

※写真を添えてお寄せ下さい。

くにたまの会 入会のご案内

くにたまの会は、「だいこくさま」を奉斎する神社の全国組織で、御神徳の宣揚と
斯道の発展、鎮座地域の活性化などを目的に左記の活動を行なっています。
より大きな御神縁が結ばれますよう、一社でも多くの神社にご加入戴きたく、ご案
内申し上げます。

活動内容

- 親睦融和相互研修会
- 会員名簿の作成
- 会報の発行
- 伝統神事・民俗文化の交流・研修など
- 全国会員神社巡拝
- 会員神社の社報の交換
- 会員神社氏子の交流・親睦

※年会費は参千円です。



入会案内のしおりをお送り致します
ので、必要部数を事務局までお知ら
せ下さい。

「くにたまの会事務局」

島根県出雲市大社町杵築東一九五

出雲大社社務所内

電話 〇八五三一五三一三一〇〇